

交換時の追加加工が不要

暗証番号変更が容易な機種へ移行

長沢製作所

(株)長沢製作所は、電気を使わないフルメカニカル機構のロングセラーモデルである機械式キーレックス錠「キーレックス」の二一〇〇・二二〇〇から、暗証番号の変更が容易な上位機種である四〇〇〇への機種交換を最小限の手間で可能にする「二一〇〇・二二〇〇交換商品」を六月より発売した。本製品を開発・発売した経緯やユーザーからの反応について、久保敏浩同社営業部執行役員部長海外市場開拓室 新事業・マーケティング担当にうかがった。

に多数ご利用いただいております。かたや、十五年前に発売を開始し、暗証番号の変更が容易に行える四〇〇〇への移行をご提案する上で従来モデルとの取り付け穴の違いといったネックがあり、その点を解消する目的で開発しました。

— 具体的にどのような製品でしょうか。 —

久保部長 二一〇〇・二二〇〇と四〇〇〇との取り付け穴の位置を補正する補強プレートをご用意しました。このプレートをお使いいただくことで、元々二一〇〇・二二〇〇のために開けてある既存の取り付け穴をそのまま使用して四〇〇〇に交換することができま



左・中)キーレックス4000 右)2100

応じて空錠切替機能およびデッドロック機能付に交換したく際には、本来であれば六カ所の穴あけ加工が必要であるところを、追加で二カ所だけ加工していただくだけで、性能的な妥協もなく、容易に機種変更していただくことが可能です。

— 反響はいかがですか。 —

久保部長 非常に良いです。従来製品を長らくお使いいただいておりますお客様からは「こういう製品を待っていたので、やっと出してくれて、積極的に発信して

— ありがたいご意見をいただきました。 —

同製品に関する詳細は左記のQRコードを読取のうえ、同社ウェブサイト内の製品ページを参照のこと。



— この製品を開発するに至った経緯を教えてください。 —

久保部長 弊社がキー



久保部長

レックスシリーズを初めて世に送り出したのが一九八一年です。スマートロックやいろいろな方式の製品と競合する中、使用部品の強化等を行いつつ四十年以上続く初代モデルである二一〇〇や二二〇〇が、ありがたいことに現在も幅広いお客様

交換することができま

共創パートナーを募集中

オープンイノベーションプログラム

(株)長沢製作所は、(公財)東京都中小企業振興公社ならびに(株)e-i-conが運営する新たな価値を創造する共創プログラムである「TOKYOSME OPEN INNOVATION PROGRAM『Change』」に参画し、共創パートナーの募集を現在行っている。

同社は一九一六年(大正五年)の創業以来、百年以上にわたって機械式ボタン錠「キーレックス」シリーズなどを中心とした錠前や建築金物の製造に取り組んでおり、国内シェアでナンバーワンを誇るアナログの堅牢性を礎に、デジタル技術との融合による新たな価値の創造を目指している。

今回の共創パートナー募集に際して、同社は以下の三つのテーマについて、特に重視している。

- ①アナログの堅牢性とデジタルの利便性を融合した「次世代キーレックス」の共同開発
- ②「鍵」の管理をスマートに。管理者の負担を軽減する「新たな仕組み」の創出
- ③業界特化型のセキュリティ

7月12日まで共創パートナーの応募を受け付けている。詳細ならびにエントリーは、左記のQRコードを読取のうえ参照のこと。

